



第21回 河川生態学術研究発表会

平成30年11月16日(金)10:30～17:00

CPD認定
5.3単位

参加
無料

<定員200名>

会場：東京大学 弥生講堂・一条ホール
(東京都文京区弥生1-1-1 東京大学弥生キャンパス内)

河川生態学術研究会では、生態学と河川工学の研究者が共同で川のあるべき姿を探ることを目的として、生態学的な観点より河川を理解するための研究活動を実施し、河川の本質の理解を深め、新しい河川管理に資する総合的な研究を進めています。

現在4つの河川別の研究グループ(菊池川、千曲川、木曽川、石狩川・十勝川)及び河川総合研究グループが活動しています。

この度、応用生態工学会との共催により、これらの研究グループによる研究成果等を一同に会して発表し、幅広い意見交換と情報共有の場として研究発表会を開催いたします。

この研究発表会が研究者、現場技術者、コンサルタント、NPOの方々など、様々な活動内容と立場の皆様の参加を得て、更なる研究の充実、質の向上を図る場となりますよう、多数のご参加をお待ちしております。



プログラム (発表内容の詳細は裏面をご覧ください)

(敬称略)

- | | | |
|-------------|------------------------------|--|
| 10:30 | 開会挨拶 | 河川生態学術研究会、国土交通省 水管理・国土保全局 |
| 10:35 | 研究グループの研究発表 (午前の部) | ・概要説明《石狩川・十勝川研究G代表 中村 太士》・研究発表《河川総合研究G 佐藤拓哉、一柳英隆、宇野裕美》 |
| 11:35 | 総合討議 | コーディネーター：島谷幸宏、パネリスト：佐藤拓哉、一柳英隆、宇野裕美 |
| 12:05～13:00 | 昼食 | |
| 13:00 | 研究グループの研究発表 (午後の部) | ・概要説明《菊池川研究G代表 島谷幸宏、千曲川研究G代表 平林公男、木曽川研究G代表 森誠一》 |
| 13:40 | ポスターセッション | |
| 15:00～15:15 | 休憩 | |
| 15:15 | 話題セッション：環境DNAの河川の現場への適用 (仮題) | コーディネーター：関島 恒夫 パネリスト：赤松 良久、東城 幸治、永山 滋也、皆川 朋子、宮 正樹 |
| 16:55 | 閉会挨拶 | 応用生態工学会 |

主催 河川生態学術研究会

共催 応用生態工学会

お問い合わせ 河川生態学術研究会事務局 (公益財団法人リバーフロント研究所内) 担当：渡邊
電話：03-6228-3864 (直通)、メール：rfc-event2018@rfc.or.jp

発表内容

10:55～11:35 研究グループの研究発表（午前の部）

河川総合研究グループ / リーダー 一柳 英隆、佐藤 拓哉

- ・河川水温の時空的変動とそれが河川生態系に与える影響
- ・流域生態系における回遊性動物の移動とその生態系機能の評価手法開発

一柳英隆
佐藤拓哉
宇野 裕美

14:00～15:00 ポスターセッション

菊池川研究グループ / 代表 島谷 幸宏

- ・未定
- ・イシガイ目二枚貝の生息場再生に向けた実践活動（仮）
- ・溪流地質からみる河川生態系—菊池川流域からの見解

島谷幸宏
斉藤謙伍
笠原玉青

千曲川研究グループ / 代表 平林 公男

- ・河川中流域における生物生産性の機構解明と河川管理への応用—2018年度の成果より
- ・千曲川中流域における一次生産の推定
- ・千曲川中流域におけるコクチバスの食性変異
- ・千曲川中流域の瀬と淵における鳥類の豊富さの比較
- ・河川版コンパートメントモデルを用いた過去と現在の二次生産系の変化に関する研究

平林公男
宮原裕一
北野 聡
笠原里恵
傳田正利

木曽川研究グループ / 代表 森 誠一

- ・本研究における概要：これまでとこれから
- ・木曽川における河道内氾濫原環境のトレンド～過去10年間の水文、地形、二枚貝の変化～
- ・イタセンパラ稚魚期における環境DNA検出精度～木曽川のワンド・たまりにおける実証～
- ・木曽川河道内氾濫原内のワンド・たまりにおける魚類の生息環境
- ・揖斐川下流河道における3次元流れ場：水制と潮汐の影響
- ・揖斐川水系津屋川における湧水と流れ場
- ・津屋川における湧水と魚類の移動～Sr安定同位体分析を用いた解析
- ・未定

森誠一
永山滋也
永山滋也
北村淳一
田代喬
田代喬
陀安一郎
鷲見哲也

15:15～16:55 話題セッション

テーマ：環境DNAの河川の現場への適用（仮題）

- ・バケツ一杯の水で棲んでいる魚がわかる技術：環境DNAメタバーコーディング法の紹介
- ・河川における環境DNA含有物質の動態
- ・環境DNAを活用したアユの生息場評価と荒瀬ダム撤去による流水域回復評価への適用
- ・環境DNAと動物糞の解析から迫る特殊生態系の食物網
- ・イタセンパラの生態特性解明に向けた環境DNAの活用

宮正樹
赤松良久
皆川朋子
東城幸治
永山滋也

参加申し込み



rfc-event2018@rfc.or.jp

●ご氏名 ●所属 ●懇親会 参加の有無
を明記の上、お申込をお願いいたします。



下記の「参加申込書」にご記入の上、
下記宛に送信ください。

03 (3523) 0640

参加者氏名	所属	懇親会（いずれかに○）
		参加 ・ 不参加
		参加 ・ 不参加

参加者代表 電話番号：

メールアドレス：

※17:15～18:45 弥生講堂にて懇親会（会費：3,000円）を予定しています。

当日の参加申し込みも可能ですが、事前準備や人数調整の関係から、事前申し込みにご協力ください。